

病院におけるその他災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15~16	本館2階検査室にて、精神科の患者のエコーをとる際、本人が何度も立とうとして落ち着きがなく、介助していたが、本人が強く抵抗し、左手親指をつかみ外側に強く曲げた。直後に親指付け根が赤く腫れ、強い痛みが生じた。	43	500~999
2	9~10	オムツ交換時、経管栄養後の為ベッドアップの状態であり上半身が左に傾いていた。体勢を直そうとベッドサイド右側より、1人で患者の上半身を手前に引こうとしたところ背部に痛みを感じたが日勤業務を行った。背部痛、頸部痛があり受診したところ骨には異常なしとの事であった。再受診の際に頸椎捻挫と胸背部筋肉痛との診断にて、10日間の安静加療期間を要する。	29	300~499
2	7~8	手袋着用の上、患者に採血を施行した。採血が終了し、抜針の際に針先の一部が出ていたが、それに気が付かず左第2指に刺した。出血は少量だった。後日、当該患者がHCV陽性であることが発覚した。その翌日、針刺し後の血液検査を行った。数日後、倦怠感、発熱があり受診した。その後、倦怠感と胃の不快感は持続した。その後の受診により急性肝炎にて入院した。後日、検査の結果原因は先日の針刺しが原因であったことが発覚した。	29	1000~9999
2	2~3	夜勤中、患者の部屋（個室）へ訪室すると、夜間せん妄により帰宅したいと強い訴えがあり、説得するも拒否あり。他スタッフへ救援要請中に患者が急に部屋から出ようとしたため、止めようとした際、首を絞められたり壁に体を強く押しつけられたりした。	25	1000~9999
3	9~10	洗面所で患者A（身長161cm、体重80.5kg、男性25歳、知的障害）の洗面介助のため、患者Aの正面に立ち電動カミソリでひげを剃っていた際、患者Aが被災者の顔をなめるような仕草をしたため、患者Aの体を手で押さえたところ、患者Aが被災	47	100~

		者の頭を両手で挟むように数回叩いた。両耳の閉塞感と音や声の聞こえづらさを感じるようになったが、その日は経過観察をすることにした。しかし、数日経っても両耳の閉塞感と聞こえづらさが続いた。		299
3	13~14	当院西2病棟内のナースステーション内において、当該病棟に入院中の患者様より、ナースステーション内の公衆電話を使用したいとの要望があり電話をかけていたところ、急に興奮状態で電話を切ったあと突然振り向き、側にいた看護師に殴りかかり、頭部や顔面にかけて殴られ、眼鏡が破損して右頬部に切り傷を負った。	57	~ 999
4	17~ 18	透析室内において、C型慢性肝炎患者の穿刺後、使用済み穿刺針を廃棄する際に針を持ち変えようとして、誤って左手掌に針を刺してしまった。	39	10~ 29
4	14~ 15	ウェラー浴室内で患者にリハビリパンツとズボンの更衣援助中、右側頭部を叩かれた。自分以外にスタッフは2人援助に入っていたが、瞬時の動きで防御する事ができなかった。認知症があり入浴前から不穏状態で、攻撃的な発言やスタッフへの暴力行動がみられていた。	30	~ 999
4	17~ 18	エレベーター扉前で配膳車を病棟に搬入するため扉を開けた際、患者が飛び出そうとしたため制止した際、患者より暴力行為を受け、眼の周囲及び両膝を受傷した。	55	~ 299
4	13~ 14	病室にて口腔ケアを介助施行中、認知症があり絶食点滴中の患者様に対し、口頭で開口を促し口を開けてもらったところに手袋をつけ、右手第2指にガーゼを巻いた手で口腔粘膜清掃をしようとした際に噛みつかれた。	34	~ 299
5	3~4	夜勤勤務中、入院中の患者を大部屋から個室へ移動させDVDを再生する準備をしていたところ、患者に後から両手で首を絞められた。振り解いた後も患者に髪の毛を引っ張られた。夜勤勤務中であったため、看護師の人数も少なく、災害発生時は患者と被災労働者のみであった。	23	~ 499
5	12~ 13	南2病棟食堂で与薬していたところ突然、患者が職員の右頬を殴打した。しばらく様子を見ていたが腫れと痛みが治まらなかった。	41	~ 299

5	0~1	病棟内にて、数ヶ月前にスライドボードを利用した入浴介助に伴う患者の運搬と、当月と翌月に入浴介助業務を行い、それ以外は病棟内で看護師一般業務を行っている。当月に入院患者に疥癬の診断があり、病棟内で感染拡大予防策を強化されたが、身体の一部に発赤と掻痒感があり、疥癬と診断される。	45	~ 299	100
5	6~7	オムツ交換中、声かけ後にオムツに触れた時に、患者から「何をする」と急に手を上げられそうになった為、顔をカバーしようとして右手でかばおうとしたとき、右手小指に当たり骨折をした。患者は、認知症であった。	59	~ 299	100
6	19~ 20	病棟の看護室で申し送り中に、患者家族から声がかかり、後程対応すると返答した。その態度が悪いと、1時間以上廊下（病室前）で怒号があり、謝罪しても許しを得られず、大声で怒鳴るなど言葉の暴力があり、強い精神的ダメージを受け、心身疲労状態で休養している。	29	~ 9999	1000
6	16~ 17	3階病棟入院患者の接触者で、被災者は陰性（-）であったが、後日、QFTゴールドが陽性（+）と判定され、検査入院となった。痰の培養は3回の検査でも陰性（-）であったが、結核感染のため、内服治療開始となった。尚、結核の発症はしていない。	32	~ 299	100
7	17~18	当院内にて、暴れる患者を拘束・移送の際、右膝を蹴られ受傷した。移送の時に腰痛、右大腿後面のしびれ、右手首に痛みを生じ、様子を見ていたが症状が改善しなかった。	54	~ 99	50~
7	20~21	病棟のパントリー内で、入院患者に、薬を配っていた時、突然1人の入院患者がパントリー内に入り、何も言わずに私の頸部に腕を巻きつけ、シャーペンで、私の顔面を殴り、左上腕も咬まれ、流血し受傷。	43	~ 9999	1000
7	9~10	病棟隔離室内で看護師2名とオムツ交換中に突然抵抗され、膝で胸部を蹴られた。普段より暴力行為があり、処置や看護行為施行時は職員複数名で対処していた。	33	~ 299	100
7	16~17	病棟内にあるデイルームで入院患者に、突然右目を殴られ胸を蹴られた。	34	~ 299	100

7	11~ 12	当院病室において、上司からの指示で新規入職の職員に業務の説明・指導をしていた最中、病室内に同僚が入ってきて清掃業務にあたるよう言われた。行うべき業務を上司に再確認しようと廊下に出たところ、突然、同僚に左肩あたりを強くたたかれ、その勢いで背後にあった荷物に左腕を強くぶつけ負傷した。	59	300 ~ 499
7	12~ 13	分娩室で、分娩のため産婦を分娩台に乗せ、分娩体位をとっている際、産婦の左側に立ち、分娩間接介助のため、外回り援助の作業中、陣痛発作が発来した。突然、産婦に左手首を強く握られ、思い切り外側へ捻じられた。そのまま発作が治まるまで放してもらえなかった。	58	50~ 99
7	9~ 10	閉鎖病棟にてスタッフが殴られ、駆け寄ったところ、同患者に突然殴りかかれ、倒れた後にさらに蹴られた。その後、様子を見たが、頭がボーっとするような気がするため受診した。	34	100 ~ 299
9	17~ 18	病室にて不穏患者対応中に主治医より胴・両上肢拘束指示あり、準備の際に屈んで拘束準備をしていたところ突然患者が顔面を足蹴りした、鼻骨を骨折及び切創。	46	500 ~ 999
9	0~1	口腔内吸引の際「口をあけるように」指示するが開口せず、看護師が開口しようとした際、口角から左人差し指を入れた時、手袋ごと左手第2指先端部を噛まれ受傷した。患者は指示に従える時とそうでない時がある、(日内変動あり)理解力については不明瞭、寝たきりの方である。病名、脳出血後遺症、重度の意識障害。	46	300 ~ 499
10	13~ 14	病棟内に疥癬患者が数名いてグローブやガウン装着し、日々看護ケアを行っていた。手背に発疹がみられるようになり受診し疥癬の診断あり。	37	100 ~ 299
11	16~ 17	1-3病棟廊下において、日勤者からの申し送り後、患者様に挨拶の為各部屋に訪室していた際、先ほど訪室した患者様が後ろから走って来て、振り返る前に突然後ろから背中を2回殴打される。患者様に話を聞いている最中に腹部を1回殴打された。状況報告後、冷湿布施行し経過観察することにしたが、軽減せず医師の指示にて後日整形外科に受診する。胸部レントゲン撮影では明らかな異常は見られないとのことであった。精密検査の為MRIを受けるが体のサイズが合わず、他院に	33	100 ~ 299

		予約してもらったが月末とのことで自分で探し別の病院に受診となる。		
12	15~16	精神科病棟ホールにて、お茶のコップの回収作業をしていたところ、精神症状不 穩の患者が、他の患者に対して暴言を言っていたので、やめる様に注意をした が、その患者が無視して暴言を続けたため2~3度注意を繰り返した。すると突然 その患者が労働者に対して、顔面を2回平手でたたき、体を押したため机に倒れ 込んだ。倒れたところに足蹴りを加え、椅子で殴りかかろうとしたところを他の 患者が制止した。	49	100 ~ 299
12	9~10	北館へ向かうため、南館1Fにてエレベーターに乗り、行き先ボタンを押そうとし たとき、外来患者（69歳・男性・統合失調症）が飛び込んで乗って来て、扉が閉 まり、8Fへ向かうエレベーター内にて患者と二人きりになると急に話しかけら れ、8Fに到着するまでの間に、突然拳で頭部・顔面・腹部を十回程度殴打され た。	47	500 ~ 999
12	14~15	重度認知症デイケア内にて、調子の悪い男性利用者が、声をかけた女性利用者 の方へ向かわれたため、他のスタッフと一緒に声をかけながら間に入ると、急に立 腹し、股間を3回程蹴られたため、他のスタッフと対応を代わった。蹴られた箇 所は、以前から痛みのような違和感があったが、蹴られた後から痛みが酷くなっ た。	34	100 ~ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html